

2014年7月8日
株式会社日立製作所

日立の特許「データストレージの容量仮想技術の発明」が 全国発明表彰文部科学大臣発明賞を受賞

日立製作所(執行役社長兼COO:東原 敏昭/以下、日立)は、このたび、「データストレージの容量仮想化技術の発明(特許第4369520号)」について、平成26年度全国発明表彰文部科学大臣発明賞および発明実施功績賞を受賞しました。本発明は、企業などが扱う大規模データのストレージを低コスト化することでストレージの普及に貢献したものです。なお、表彰式は、本日、社団法人発明協会110周年の記念式典に合わせてホテルオークラ東京で開催されました。

全国発明表彰は、日本における発明、考案または意匠の創作者ならびに発明の実施および奨励に関し、功績のあった研究者・科学者を顕彰することにより、科学技術の向上および産業の発展に寄与することを目的として大正8年に創設されました。

今回、日立が受賞した発明は、企業などが扱う大規模データのストレージ初期導入コストの低減、および容量使用効率の向上を可能にしたことで、ストレージの普及に貢献した基本発明です。従来は、将来のデータ増大を見越して大規模な容量のストレージを準備していたため、装置の初期コストが大きくなるという課題がありました。しかし本発明では、コンピュータに大規模な容量のストレージがあるように見せる仮想化技術により、当面使用する容量分の記憶媒体だけを導入することで、ユーザの負担となる初期コストを低減できるようになりました。

日立は、今後も、ストレージ分野に関する技術開発を通して、科学技術および産業の発展に貢献していきます。

■照会先

株式会社日立製作所 横浜研究所 企画室 [担当:吉田]
〒244-0817 神奈川県横浜市戸塚区吉田町 292 番地
電話 050-3135-3409 (直通)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
